

パーク&ライド利用促進モデル事業 〈報告書（概要版）〉

2024年3月

愛知県

第1章	業務概要	1
第2章	パーク&ライド利用を促す動機づけ資料の作成	2
第3章	モデル地区の選定	
	3-1. モデル地区選定のための基礎情報の整理	4
	3-2. パーク&ライドの対象駅の選定	4
	3-3. モデル地区の選定	5
第4章	モデル地区等におけるモビリティ・マネジメントの実施	
	4-1. モビリティ・マネジメントの実施内容・実施方法の検討	7
	4-2. モビリティ・マネジメントの実施概要	8
第5章	事業実施の効果の検証	
	5-1. アンケート調査結果	9
	5-2. モビリティ・マネジメントの実施結果に対する検証	16
	5-3. 今後の展開方策	19

業務の背景と目的

愛知県ではクルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分ける「エコ モビリティ ライフ」（エコモビ）が県民運動として進められており、公共交通の利用促進、渋滞の緩和、環境負荷の低減などの効果が期待できるパーク＆ライドの普及拡大が、重点取り組み事項の一つとして位置付けられている。

そこで、「あいち交通ビジョン」の具体的な施策展開として、パーク＆ライドの利用促進に向けたモデル事業が令和4年度より実施されている。

本委託業務では、令和4年度事業の成果を踏まえ、愛知県が進めるMaaSとの連携も図りながら、新たに選定するモデル地区において、モビリティ・マネジメントの手法によりパーク＆ライド実践の動機付けを行い、パーク＆ライド利用への転換を促すことを目的とする。

(1) パーク＆ライド利用を促す動機づけ資料の作成

パーク＆ライド向け駐車場の情報や鉄道情報（時刻表等）、公共交通利用のメリット、まちなかや観光地等への自動車の集中緩和につながる情報提供等、パーク＆ライド利用を促す動機付け資料を作成

(2) モデル地区の選定

重点的にパーク＆ライドを推進する地区を沿線市と協議の上、モデル地区として2か所を選定

(3) モデル地区等におけるモビリティ・マネジメントの実施

(2) で選定したモデル地区において (1) で作成したパーク＆ライド利用を促す動機付け資料等を活用して、パーク＆ライド利用への転換を促す取り組みを実施

(4) 事業実施の効果の検証

事業実施の効果を検証し、その成果を、沿線市をはじめ県内市町村における今後のパーク＆ライドの推進や、公共交通の利用促進に向けた施策の参考にできるよう整理

□ 読者からの関心を集めることができるよう、デザイン面にも配慮した資料を作成（図2.1、図2.2参照）

「P&Rの認知向上」イラストを用いた平易な表現での情報提供

「中面へ誘導する工夫」資料に興味を持ってもらえるような親しみやすいデザイン

エコモビリティライフを応援しています!

エコモビとは…

エコモビとは、環境の「エコ」、移動の「モビリティ」、生活の「ライフ」をつなげた言葉で、クルマと公共交通、自転車、徒歩などをかきく使い分けるライフスタイルをすすめる愛知県の実践です。毎月第1水曜日は「エコモビの日」です。ぜひエコな交通手段を選んでみましょう!

エコモビ

通1日は通勤・通学で
休日も鉄道・バスで

少し遠くは自転車
近所は徒歩で

カーシェアリング
相乗り

エコモビお得情報

愛知県の「知って得するエコモビ実践ガイド」では、公共交通を利用するとお得になるクーポンなどお得情報が満載です!

ポイント付与
クーポン発行
10% OFF

パーク&ライドの際は事前にサイトをチェック!

ポイント特典
各種割引

エコモビお得情報 検索

お問合せ先 愛知県 都市・交通局 交通対策課 (Tel.052-954-6125)
【エコモビホームページ】 <https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>

パーク&ライドで渋滞イライラのない生活!

瀬戸市版

愛知県内では、クルマ(自家用車)による移動が多く、特に通勤時間帯には渋滞する道路区間が多くみられます。これらの交通渋滞の解消などのために、パーク&ライドの取組みを進めています。

Let's Park and Ride!

図2.1 動機づけ資料（表紙及び裏表紙）

第2章 パーク&ライド利用を促す動機づけ資料の作成

□ 読者からの関心を集めることができるよう、デザイン面にも配慮した資料を作成（図2.1、図2.2参照）

「P&Rの認知向上」
イラストを用いた平易な表現での情報提供

「P&R駐車場の情報」
利用に役立つ具体的な情報の提供

「利用者自線のメリット」
共感を得るため利用者の生の声として紹介

パーク&ライドとは？

「パーク&ライド」とは、自宅から駅やバス停まで自家用車で行き、そこから公共交通（鉄道、バス）に乗り換えて移動することです。

イメージ



目指すのは…

渋滞緩和



環境負荷低減



公共交通の維持



愛知県鉄道

瀬戸市駅のパーク&ライド駐車場はこちら

瀬戸市駅では、市営「東横山駐車場」をパーク&ライド駐車場としています。是非ご活用ください。

東横山駐車場の概要

収容台数	40台
利用料金	60分まで……………100円 5時間を超え24時間まで……………600円
営業時間	24時間営業、無休

※注意 市営駐車場に隣接して、名鉄協商パーキング（経自動300円）があります。間違いにご注意ください。



パーク&ライドの良いところ！

これまでに「パーク&ライド」の取組みに参加された市民の皆さんが感じた「パーク&ライド」を実践したメリットをご紹介します！

パーク&ライド利用者の声

通勤時の渋滞を避けられて朝のイライラも減りました！

渋滞による遅刻を心配して、早く自宅を出なくてよくなりました。

歩く時間が増えて、運動不足を解消！

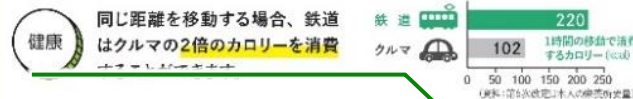
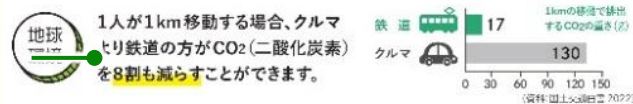
実は、クルマで行くよりも電車の方が到着が早かったです！

目的地に着く時間が分かるから安心！

クルマから電車に乗り換えて、読書や勉強ができるようになりました。



パーク&ライドは地球環境と健康にもこんなにやさしい！



Let's Park and Ride!

図2.2 動機づけ資料（中面）

第3章 モデル地区の選定

3-1.モデル地区選定のための基礎情報の整理

- 「交通渋滞の緩和」「パーク&ライドに利用できる駐車場」「ターゲット層の人口（地域状況）」の3観点から整理を行った

3-2.パーク&ライドの対象駅の選定

1) 対象駅の選定条件

- 駅の近隣に市営駐車場が整備されている愛知環状鉄道の駅で、空き容量に一定以上の余裕あること
- 令和4年度の事業で対象とした駅（瀬戸口駅、四郷駅）でないこと

2) 対象駅及びモデル地区選定のための考え方

- P&Rの利用目的は「通勤利用に限らない」ため、幅広い年代をターゲット層とする
- 対象駅から一定以上の距離が離れた地区に着目
- 対象駅以外の駅を利用する見込みが少ない地区に着目
- 鉄道以外の公共交通利用（バス等）のサービス水準が高くない地区に着目
- 沿線市との協議結果と、本事業で想定する対象世帯数（2市合計1,000世帯程度）とを総合的に判断してモデル地区を決定

3) 対象駅の選定

以上の選定条件・考え方を踏まえて対象駅を以下のように選定

- 瀬戸市：瀬戸市駅（市営東横山駐車場） / 豊田市：末野原駅（愛知環状鉄道末野原駅前駐車場）

第3章 モデル地区の選定

3-3. モデル地区の選定

3-3-1. 瀬戸市駅におけるモデル地区の選定

- 地区の高齢化率、瀬戸市駅の利用需要、自治区の観点から検討から検討実施（図3.3参照）
- 「みずの坂」地区を候補とし、500世帯程度となるようモデル地区を選定

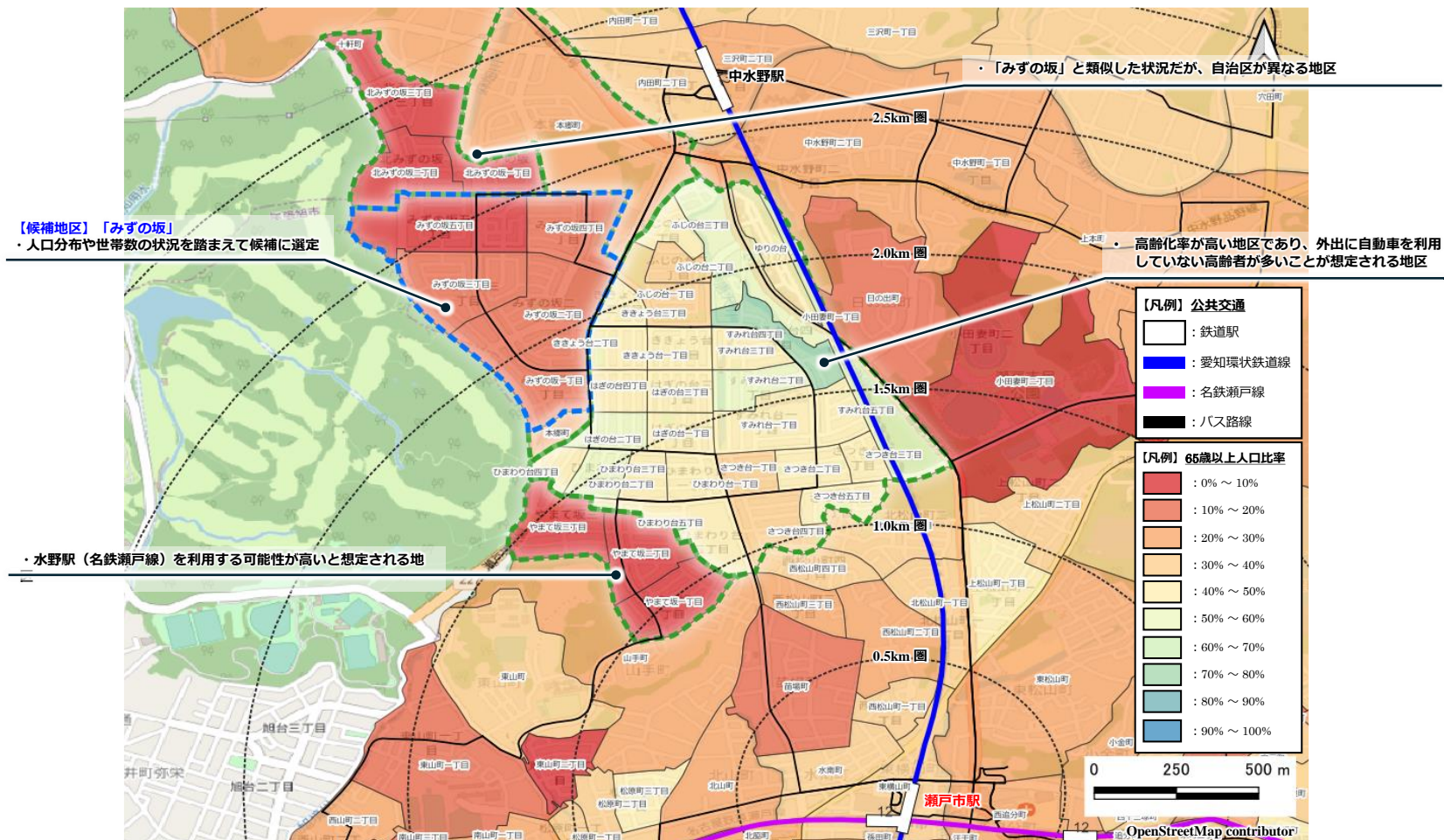


図3.3 瀬戸市駅におけるモデル地区候補の選定結果

第3章 モデル地区の選定

3-3. モデル地区の選定

3-3-2. 末野原駅におけるモデル地区の選定

- 地区の高齢化率、末野原駅の利用需要、考慮が必要な地区個別の事情の観点から検討実施（図3.4参照）
- 「明和町」地区を候補とし、500世帯程度となるようモデル地区を選定

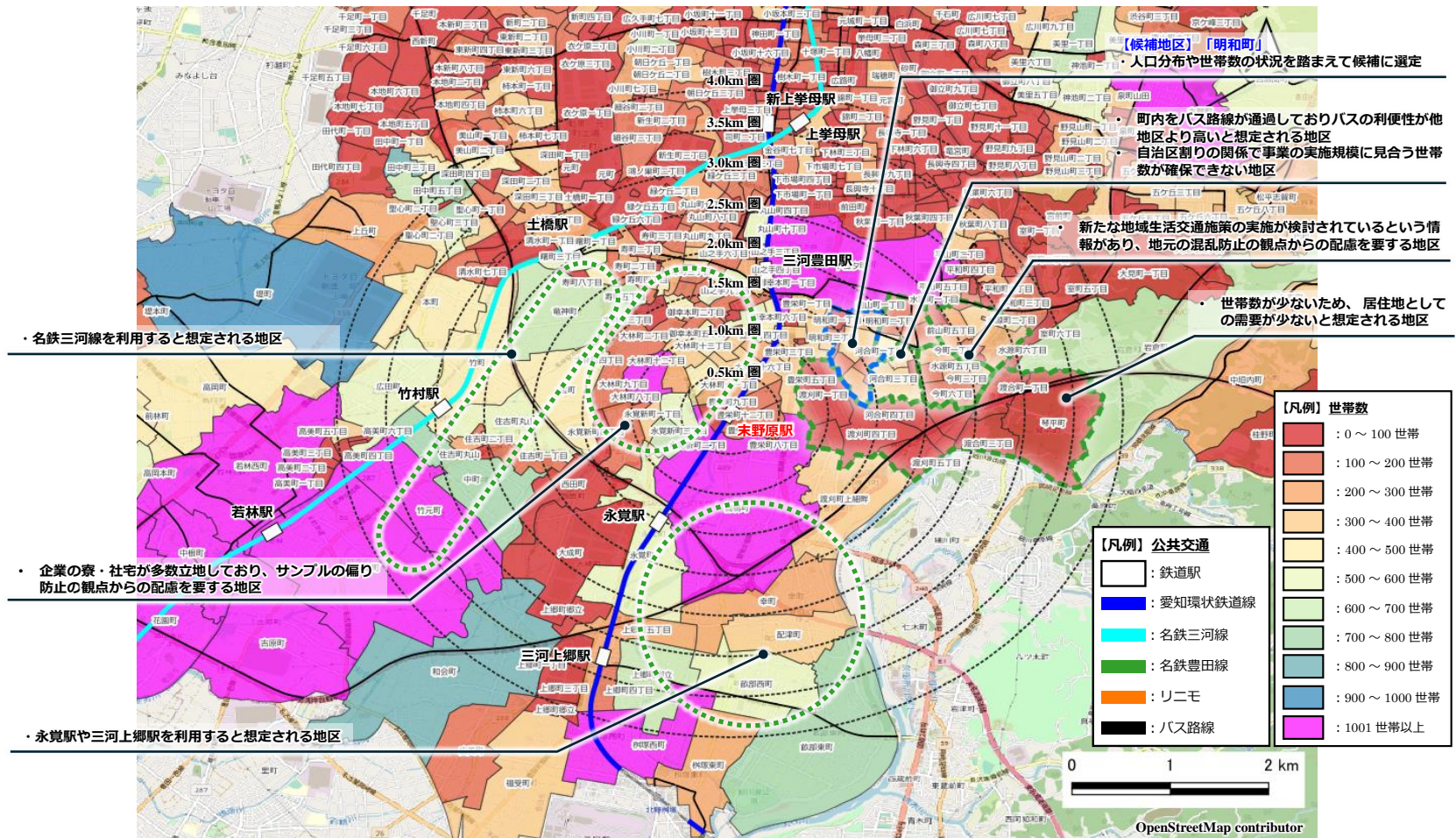


図3.4 末野原駅におけるモデル地区候補の選定結果

4-1.モビリティ・マネジメントの実施内容・実施方法の検討

4-1-1.実施内容の検討

- 「ワンショットTFP（トラベル・フィードバック・プログラム）」を活用したモビリティ・マネジメントを実施
- 作成した動機づけ資料をモデル地区の住民に配布することでパーク&ライドに関する情報提供を行い、利用促進を図る
- 今後の利用促進に向けた知見の獲得や課題把握のため、パーク&ライドに関する認識や意識、本取組みの効果等に関するアンケート調査も実施
- 愛知県が進めるMaaSとの連携を図るため、MaaSアプリ「my route」と連携した情報提供についても実施

4-1-2.実施方法の検討

1) 資料の配布方法

- 動機づけ資料及びアンケート調査票はモデル地区の各世帯に1部ずつ配布 ※日本郵便のタウンメールによる郵送配布

2) アンケート調査の実施方法

- 配布資料に「調査に関するお願い（説明資料）」を同封し、本取組みの趣旨・目的について十分説明した上で調査を実施
- 自動車を運転することができる人（世帯の代表者）が調査の対象であり、幅広い年代の回答者が想定されることから、「紙面での回答・郵送回収」と「Web回答」の2種類の回答方法を用意し、回収率の向上を図る
- さらなるアンケート回収率の向上と実際のパーク&ライドの利用を促す効果を狙い、パーク&ライドの利用者に対して「モリコロピンバッジ」をプレゼントする取組みも併せて実施

4-2.モビリティ・マネジメントの実施概要

4-2-1.アンケート調査項目

表4.2 アンケート調査項目の一覧

調査区分	調査項目
回答者属性	年齢、同居家族、在宅勤務の頻度、通勤時の交通手段、通勤手当の支給状況、P&R利用時の通勤手当
P&Rの利用経験	P&Rの認知状況、P&Rの利用可否 P&Rの利用目的、利用区間・移動方法・所要時間（P&R利用可能者のみ）
P&Rを利用した理由	P&Rを利用できる理由4項目、その他の理由（P&R利用可能者のみ）
P&Rを利用できない理由	P&Rを利用できない理由8項目、その他の理由（P&R利用不可能者のみ）
P&Rの利用促進に必要なだと思う取組み	P&R利用促進のための取組み5種類、他に考えられる取組み
MaaSアプリの利用経験	MaaSアプリの利用経験

4-2-2. パーク&ライド利用者へのモリコロピンバッジのプレゼントと追加の質問について

- 「回収率向上」と「パーク&ライドの利用促進」のため、プレゼント（モリコロピンバッジ）キャンペーンを企画
- プレゼント希望者には、パーク&ライドを実際に利用した人の意見を把握するための質問を追加で実施

4-2-3. 愛知県MaaSアプリ「my route」と連携した情報提供

- MaaSアプリ「my route」内で瀬戸市および豊田市におけるパーク&ライド情報の提供を実施（図 4.1参照）



図4.1 愛知県MaaSアプリ「my route」と連携した情報提供のイメージ図

5-1. アンケート調査結果

5-1-1. 回収件数

□ 2市合計で155件（紙面111件、Web44件）であり、回収率は15.4%

□ 瀬戸市：81件（紙面60件、Web21件）で回収率17.5% / 豊田市：74件（紙面51件、Web23件）で回収率13.7%

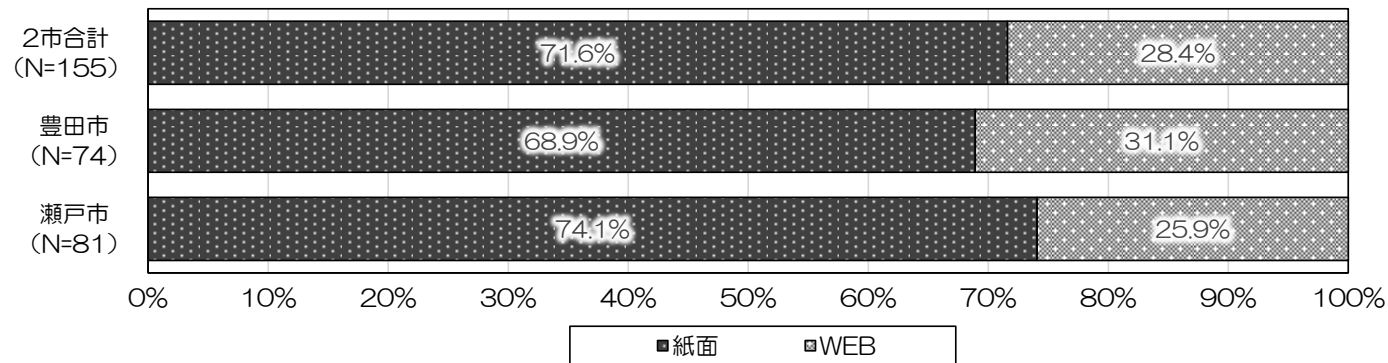


図5.1 アンケート回収率

5-1-2. 「回答者属性」に関する基礎集計結果（抜粋）

□ 瀬戸市では50代が53.1%と最も多く、次に多いのが60代の28.4%

□ 豊田市では70歳以上の回答者が31.1%と最も多く、50代の24.3%、60代の25.2%と続く

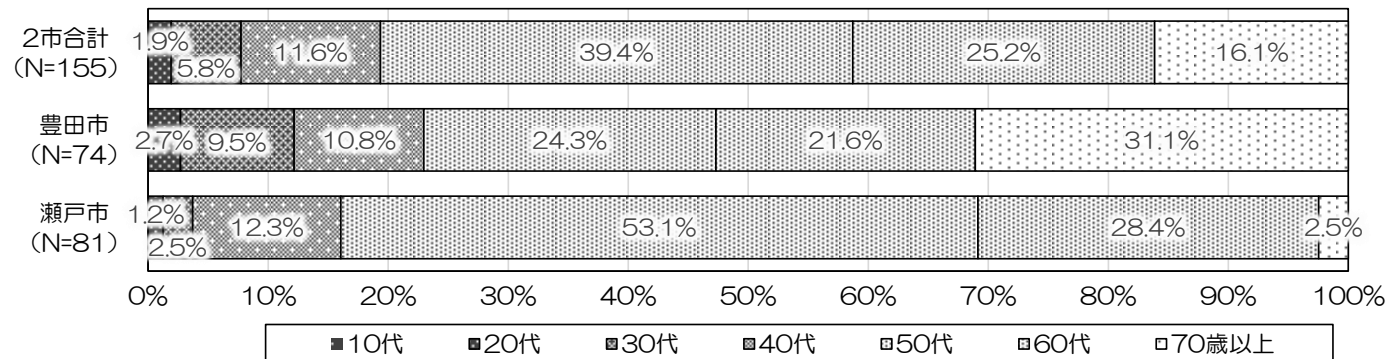


図5.2 「年齢」の回答分布

5-1-3. 「パーク&ライドの利用経験」に関する基礎集計結果（抜粋）

1) 「パーク&ライドの認知状況」について（図5.3参照）

瀬戸市・豊田市とも全体的な傾向は下記のとおりであり、大きな違いは見られない

- 「知らなかった」が最も多く、過半数を占める
- パーク&ライドを認知していた人の内訳では「知っていたが利用したことはない」の方が多い

2) 「パーク&ライドの利用可能性」について（図5.4参照）

瀬戸市・豊田市とも全体的な傾向は下記のとおりであり、大きな違いは見られない

- 「利用できない」と回答した人がほぼ過半数を占める
- パーク&ライドを利用できる人の内訳では「利用したことはないが、利用できると思う」の方が多い

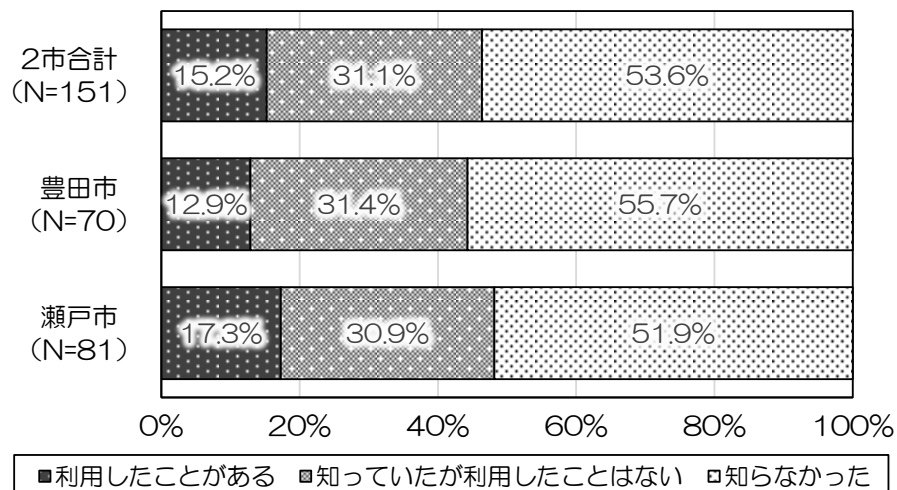


図5.3 「パーク&ライドの認知状況」の回答分布

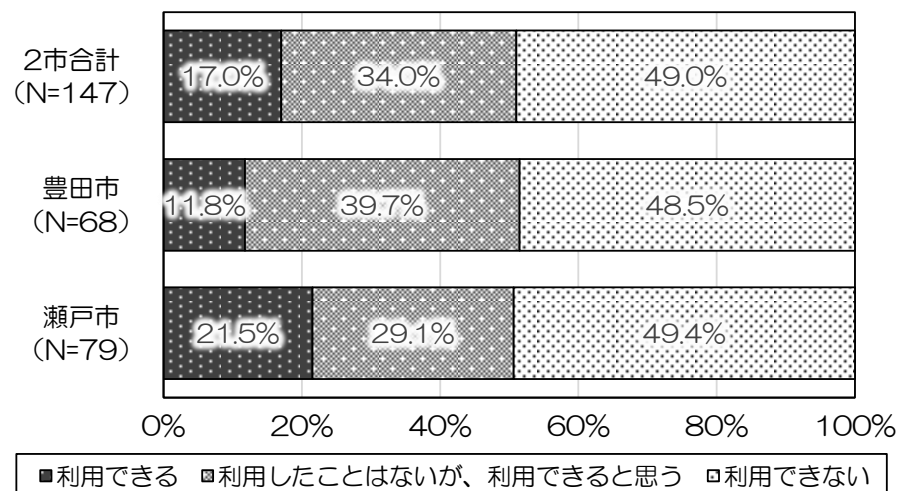


図5.4 「パーク&ライドの利用可能性」の回答分布

5-1-4. 「パーク&ライドを利用した理由」に関する基礎集計結果

□ パーク&ライドを利用する有力な理由となる可能性がある項目

□ 交通費や所要時間の面では必ずしも得にならないと認識されている場合も少なくない可能性

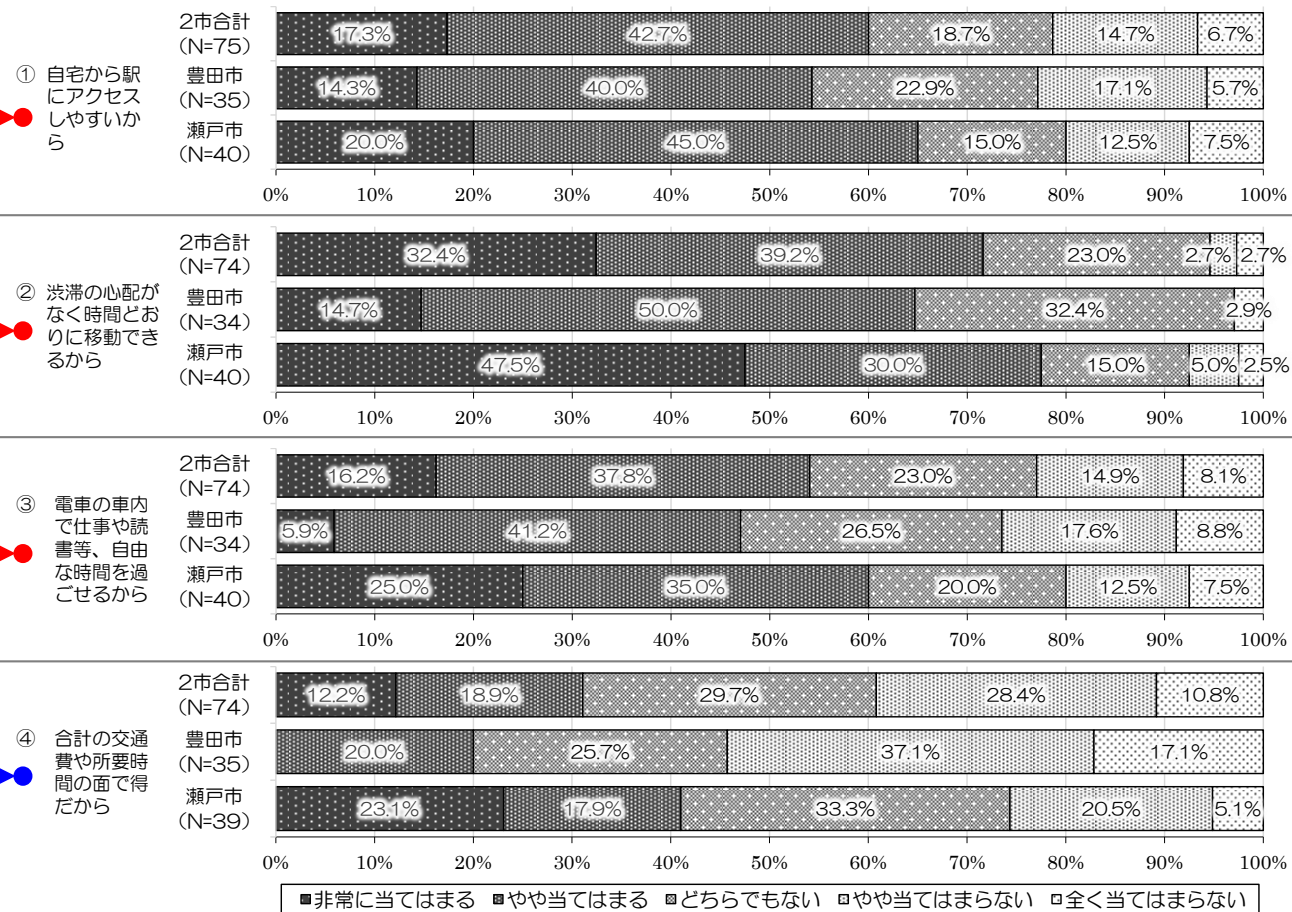


図5.5 「パーク&ライドを利用した理由」の回答分布

5-1-5. 「パーク&ライドを利用できない理由」に関する基礎集計結果

□ パーク&ライドを利用できない有力な理由となる可能性がある項目

□ 必ずしもパーク&ライドを利用できない理由にはならない可能性がある項目

□ 「どちらでもない」の回答が最も多い

- ・ 駐車場が利用できるかどうか、確信を持っていない利用者が多くいる可能性

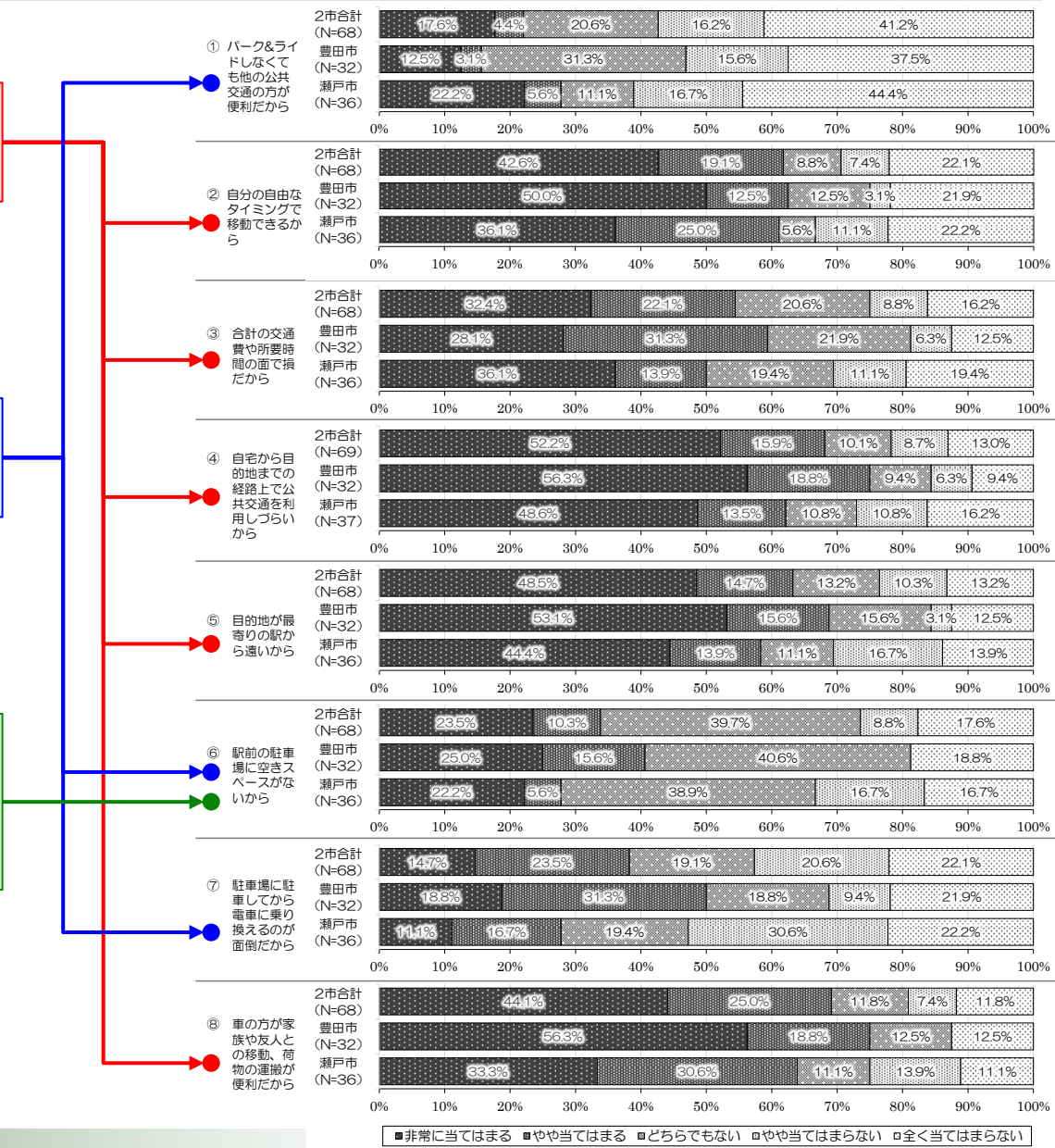


図5.6 「パーク&ライドを利用できない理由」の回答分布

5-1-6. 「パーク&ライドの利用促進に必要だと思う取組み」に関する基礎集計結果

□ いずれもパーク&ライドの利用促進のための有効な取組みとなり得る可能性があることが示された

□ 移動費用の低減に関するニーズ

□ 移動の利便性向上に関するニーズ

□ パーク&ライドで来訪できる目的地に関するニーズ

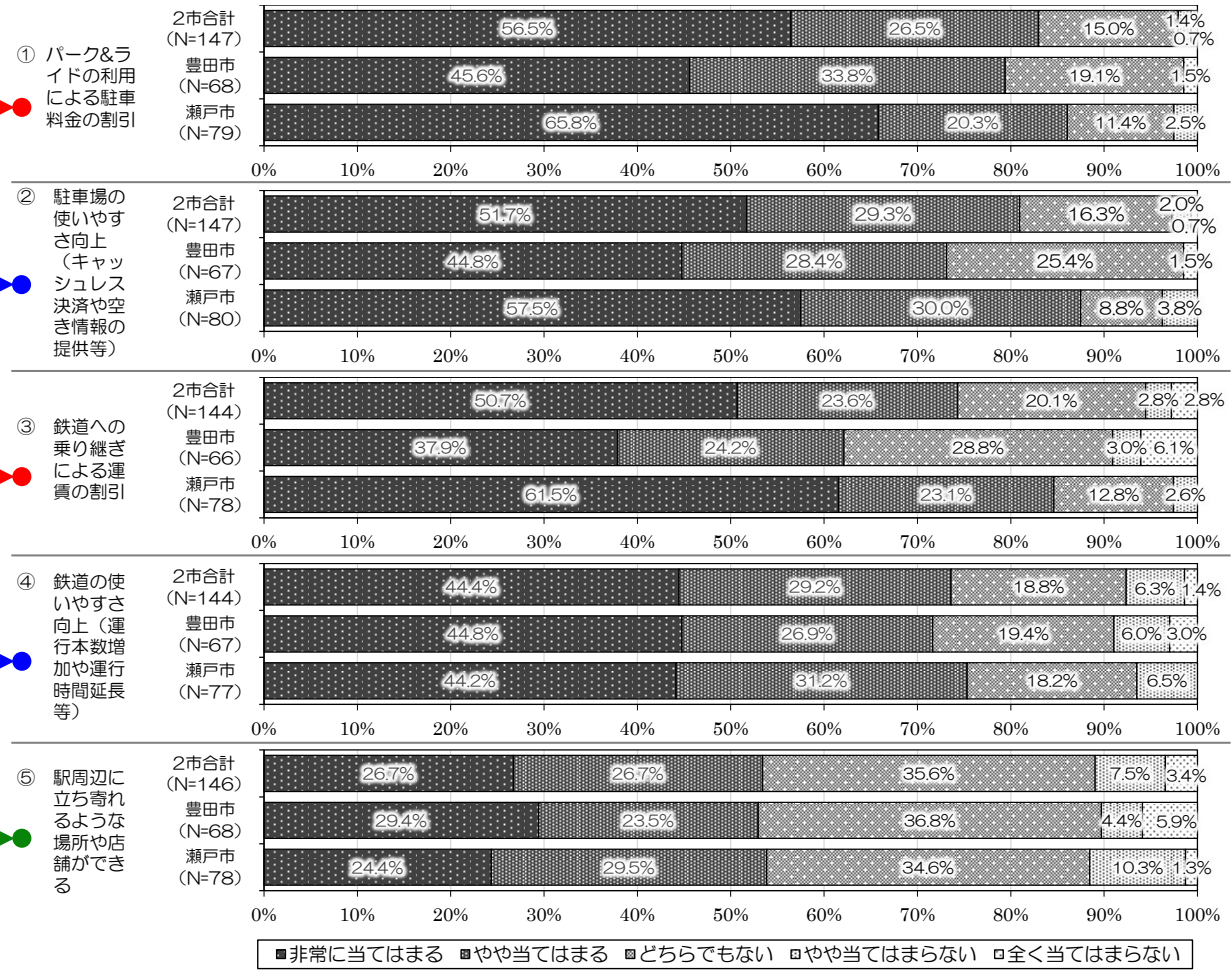


図5.7 「パーク&ライドの利用促進に必要だと思うこと」の回答分布

5-1-7. 「MaaSアプリの利用経験」に関する基礎集計結果

両市とも「知らない」が回答者の全体に近い割合

- 「利用したことがある」もしくは「利用したことがないが、知っている」と回答した人はごく一部

瀬戸市・豊田市では愛知県が実証を行っている「my route」を含め、MaaSアプリの認知が進んでいない可能性

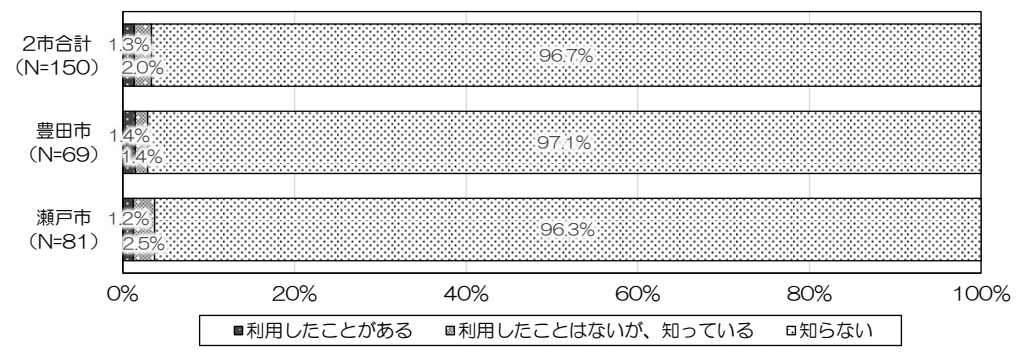


図5.8 「MaaSアプリの利用状況」の回答分布

5-1-8. 「動機づけ資料の評価」に関する基礎集計結果

いずれの項目も肯定的な評価が多く、パーク&ライドの理解を促進する資料として有効に機能

いずれの項目でも「どちらでもない」の回答が肯定的な意見に次ぐ割合の高さ

- 以下のような意見を持つ人が多いと推測
 - ✓ 参考になった部分もあったが参考にならなかった部分もあった
 - ✓ 既に知っている内容が多く、改めて参考になる部分はなかったが、趣旨自体は肯定的に受止めた

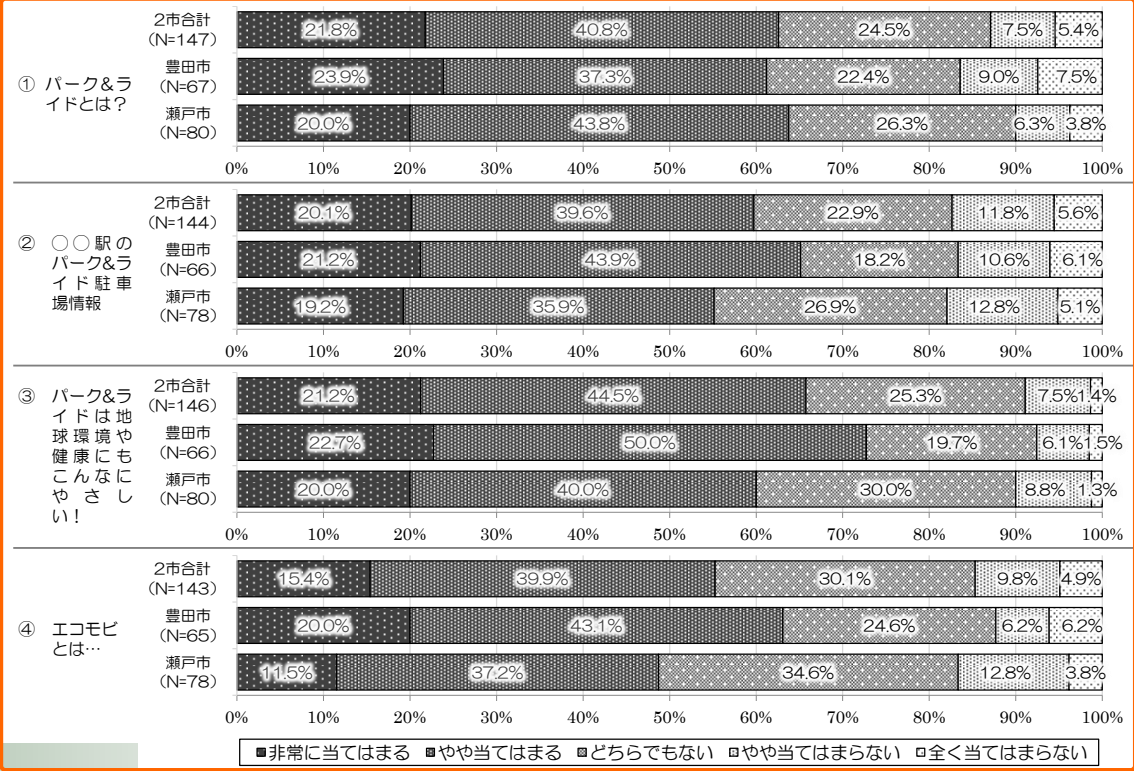


図5.9 「動機づけ資料の評価」の回答分布

5-1-9.パーク&ライドを利用しようと思った理由、今後の利用意向に関する基礎集計結果

□ ほとんどの項目で「どちらでもない」が最も多い

- P&Rの実践を促す取組みとしては後押しがやや不足

□ ほとんどの項目で「否定的な回答」も少ない

- 取組みの方向性自体には一定以上の妥当性があった

□ 動機づけ資料を用いたモビリティ・マネジメントがパーク&ライドの利用を促す手段として有効に機能した可能性

□ パーク&ライドの実践を促す取組みとしての効果はあまり得られなかった可能性

□ パーク&ライドを実際に利用してもらうことで今後の利用意向に対して良い影響を与えることができる可能性

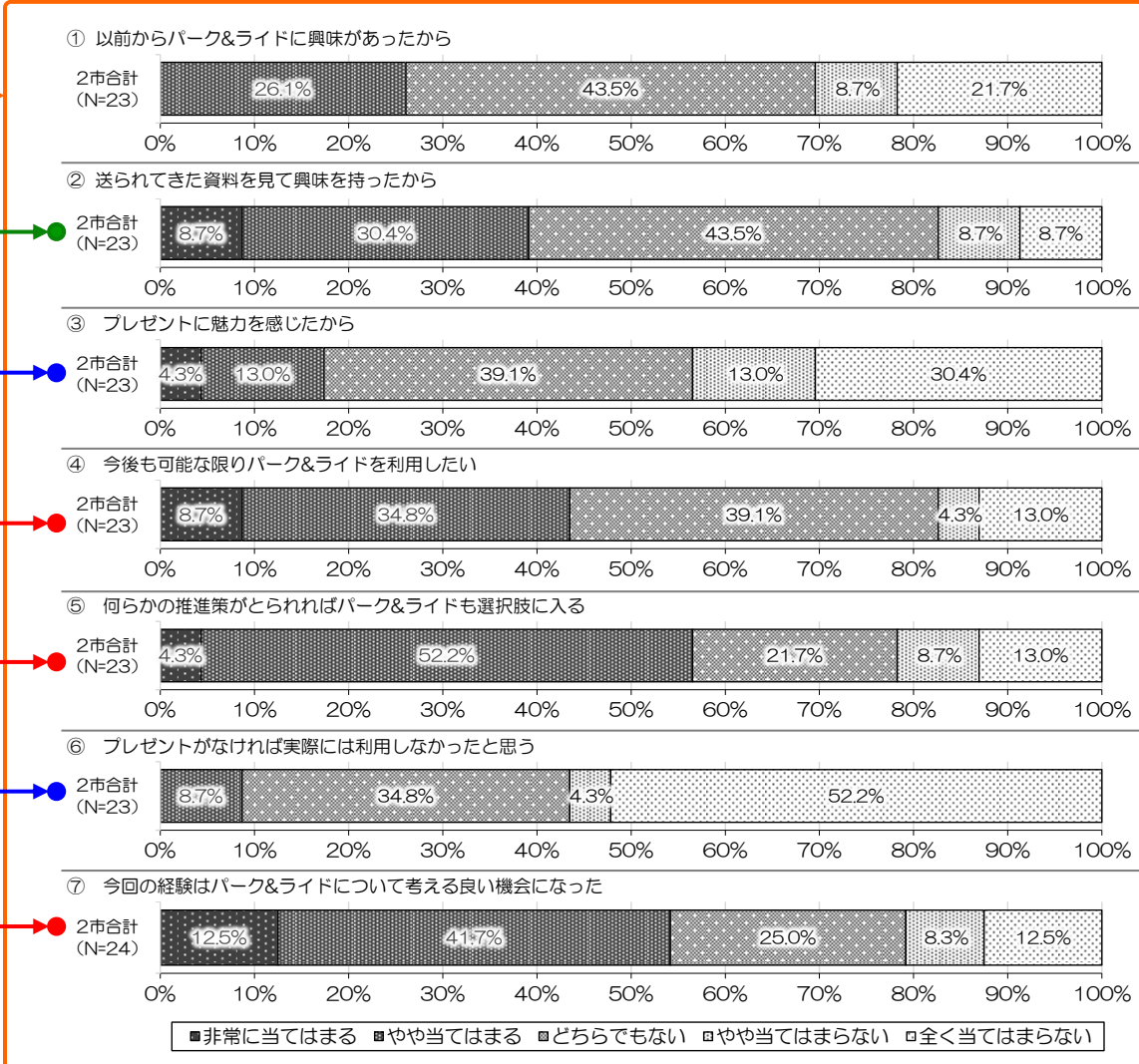


図5.10 「パーク&ライドを利用しようと思った理由、今後の利用意向」の回答分布

5-2.モビリティ・マネジメントの実施結果に対する検証

5-2-1.アンケート調査の信頼性・今後の課題について

1) アンケート調査の信頼性について

以下の理由から、本調査結果は一定以上の信頼性が確保されていると考えられる

- 一般に公開されている調査結果等と比べて、本調査はやや低回収率の可能性はあるが、信頼性を損なうほどではない
- モデル地区の人口分布と比較して回答者の年齢構成がやや高いが、以下の理由から、回答者の偏りを示す結果ではないと言える
 - ・ 回答者は世帯の代表者のみで一部の住民に限られる / 世帯の代表者が回答するため回答者の年齢が高くなりやすい

2) アンケート調査の今後の課題について

- より信頼性の高い結果を得るため、「回収率の向上」と「多様な年齢の回答者から回収」することが必要

5-1-2.動機づけ資料について

1) 動機づけ資料の評価について

- 令和4年度事業での動機づけ資料と比較して、全体的に「非常に参考になった」の回答割合が向上
 - ・ デザイン面の改良によっても評価を向上させることができる可能性があることが示された

2) 動機づけ資料の効果について

- 「実際にパーク&ライドを利用した理由」では「送られてきた資料を見て興味を持ったから」が最も肯定的な回答が多い
 - ・ パーク&ライドの理解を促進する効果以外に、実践を促進する効果がある可能性が示された

3) 動機づけ資料の課題について

- パーク&ライドを認知していない人が過半数超を占めていることから、「認知度の向上」が必要
- 各項目で「どちらでもない」が高い割合であることから、「踏み込んだ内容も掲載する等、参考にならない部分の削減」が必要

5-2-3. アンケート調査によって得られた知見・課題の整理

1) パーク&ライドを利用した理由について

- パーク&ライドの利用促進策を検討する際に着眼点になり得るのは以下の3点
 - ・ 「渋滞」に遭遇する可能性が高いことが認識できれば、「渋滞の心配がなく移動できる」ことの魅力度は高くなる
 - ・ 「電車内での時間を有意義に使う」ことがイメージできれば、「自由な時間を過ごせる」ことの魅力度は高くなる
 - ・ 「交通費や所要時間の面で得になる移動ルート」を認識できればパーク&ライドの魅力度は高くなる

2) パーク&ライドを利用できない理由について

- パーク&ライドの利用促進策を検討する際の着眼点になり得るのは以下の4点
 - ・ 「交通費や所要時間の面で損になる移動ルート」に関する認識の改善
 - ・ 「全ての目的地に対して公共交通が利用しづらい」ことに関する認識の改善
 - ・ 「全ての目的地に対してアクセスしづらい」ことに関する認識の改善
 - ・ 「駅前の駐車場の混雑状況」に関する認識の改善

3) パーク&ライドの利用促進に必要なだと思ふ取組みについて

- 利用者からのニーズが強い取組みの方向性は以下の3点
 - ・ 駐車料金や運賃の割引等による移動費用の低減
 - ・ 駐車場や鉄道等の使いやすさ向上による移動利便性の向上
 - ・ 駅周辺の立ち寄れるような場所や店の等、パーク&ライドで来訪できる目的地の増加

4) パーク&ライドの利用体験について

- パーク&ライドを実際に利用した人からの意見を踏まえると、利用促進策を検討する際の着眼点になり得るのは以下の3点
 - 実際にパーク&ライドを利用してもらうことで、今後の利用意向に対して良い影響を与えられる可能性がある
 - 動機づけ資料がパーク&ライド利用のきっかけになった場合が多い
 - 元々パーク&ライドに興味があるという層でなくても利用促進のターゲット層とできる可能性がある
 - プレゼント等のインセンティブの付与が利用促進に繋がる可能性があるが、多数の利用者が魅力を感じる内容とすることが必要

5) 展開方策検討の着眼点の整理

- 今後の展開方策の着眼点を表5.1のように整理

表5.1 今後の展開方策検討の着眼点

項目	No.	着眼点
アンケート調査の信頼性向上	①	アンケート回収率の向上
	②	多様な年齢の回答者からアンケート回収
パーク&ライドを利用する動機づけの強化	③	渋滞の発生状況の周知
	④	電車内での時間の過ごし方の発信
	⑤	得になる移動ルートへの周知
パーク&ライドを利用できない要因の改善	⑥	公共交通の利便性が高いルートへの周知
	⑦	パーク&ライドが便利な目的地への周知
	⑧	駐車場の利用状況への周知
パーク&ライドを利用する機会の提供	⑨	利用体験への参加を促すキャンペーン

5-3. 今後の展開方策の提案

5-3-1. より効果的なモビリティ・マネジメントの実施

1) アンケート調査の実施方法の改良

- 【回収率の向上】「回答者の負担が軽微であること」と「回答にインセンティブがあること」が主な要素として考えられる
 - ・ 1点目：設問数を可能な限り削減する、紙面とWeb2つの回答手段を用意する等の工夫が考えられる
 - ・ 2点目：何らかのインセンティブを与えるキャンペーンを併せて実施する等の工夫が考えられる
- 【回答者の年齢構成】「多様な年齢の人にアンケートを配布すること」が主な要素として考えられる
 - ・ 各世帯への郵送配布以外に、対象駅の利用者に手渡しで配布する方法も考えられる

2) パーク&ライドの実践体験キャンペーンの実施

- 実際の利用者に対してインセンティブを付与するキャンペーンを実施する等、行動に移す機会を提供することが重要
- キャンペーンとしては「パーク&ライドに要する費用の補助」や「ノベルティの配布」等が考えられる
 - ・ 【費用】利用券や割引券を直接配布する方法の他、駐車場代や鉄道運賃に相当する金券の配布も考えられる
 - ・ 【ノベルティ】配布するノベルティの内容によっては十分な効果が得られない場合もあるため留意が必要
 - ・ 「限定感があること」「そのノベルティのファンが多いこと」等があれば効果的
 - ・ パーク&ライドでの来訪を促したい施設等と協力し、関連グッズや特別仕様の入場券等を用意することも考えられる
- 「実際のパーク&ライド利用者からの意見」や「モビリティ・マネジメントを受けての意見」も併せて収集することが重要

5-3-2. 動機づけ資料を中心とした啓発・情報発信の強化

1) 紙面の動機づけ資料の改善

- 「既に一定の知識がある人」向けに、以下の観点で「実益性がある」内容も掲載することが重要
 - ・ パーク&ライドを利用することで回避できる可能性がある渋滞の発生状況
 - ・ 電車内での有意義な時間の過ごし方の事例紹介（実際の利用者からの声の紹介）
 - ・ パーク&ライドでの移動の方が得になるルートの紹介
 - ・ パーク&ライドでの移動が便利なルート・目的地の紹介
 - ・ 駐車場の空き状況（混雑時間帯、非混雑時間帯）

2) MaaSアプリ等と連携した動機づけ資料の作成

- MaaSアプリ等、電子媒体と連携して「掲載可能な情報量」と「利用者個々の事情に合致した内容」の情報提供を行うことが重要
- 動機づけ資料には概要を示し、QRコード等から電子媒体へ誘導して詳細な情報提供を実施することが考えられる
- MaaSアプリ等の電子媒体との連携による資料作成のイメージを表5.2に整理した

表5.2 MaaSアプリ等の電子媒体との連携による動機づけ資料作成のイメージ

掲載内容	対応のイメージ
□ 渋滞の発生状況	□ 日々の渋滞発生状況を閲覧可能な地図アプリと連携することで、任意の場所の渋滞発生状況を確認可能とする
□ 電車内での有意義な時間の過ごし方の事例紹介	□ 利用者が自由に意見の投稿・閲覧できる場を用意する □ テーマに応じた特集や、投稿のまとめの掲載
□ パーク&ライドが得なルートの紹介 □ パーク&ライドでの移動が便利なルート・目的地の紹介	□ 経路検索と連動し、任意の出発地・目的地までのパーク&ライドの利用を含むルートの検索を可能とする □ 移動費用の面（交通費・所要時間等）の面での推奨ルートの表示機能を持たせる □ 移動利便性の面（乗換え回数・所要時間等）での推奨ルートの表示機能を持たせる
□ 駐車場の利用状況	□ 日々の駐車場の利用実績をもとにした、パーク&ライド可能な駐車場の混雑状況の確認機能を持たせる